

2017年12月4日

**平成30年2月期 第2四半期
決算説明会及び会社説明会**

株式会社 北の達人コーポレーション

代表取締役社長 木下勝寿

1

会社概要及び事業内容

2

業績ハイライト

3

基本戦略と今後の展開

1. 会社概要及び事業内容

経営理念

**「おもしろい」をカタチにして
世の中をカイケキにする達人集団。**

創造性や独創性を大切にする人間成長企業として、お客様、株主、取引先、従業員などあらゆるステークホルダーとの共存共栄を目指すとともに、法令を遵守し、公正かつ透明で堅実な経営を行うことを基本方針としております。他社でなされていない「あたらしい」取り組みを楽しみながら、やりがいを持ってカタチにし、提供する製商品やサービスで世の中を快適にする。

これからも私達はそんな「達人」であり続けたいと考えています。

私達は日本の端である北海道に拠点を置きながら全世界に向かって新しい価値を提供し続けていきます。明治初期、北海道にフロンティアスピリットにあふれる人たちが集まり、原野を切り開いていきました。私達はその先人たちの開拓魂を引き継いだ21世紀の『北海道開拓使』であると自負しています。

1. 会社概要及び事業内容

他の東証一部上場企業と北の達人コーポレーションの違い

	北の達人コーポレーション	一般的な 東証一部上場企業
従業員数	73人	8200人
平均年齢	34歳	46歳
社歴	17年	60年

「少人数」 「若手中心」 「短期間」
で東証一部上場を達成！

1. 会社概要及び事業内容

受賞歴 (抜粋)

2017年 4月 モンドセレクション 最高金賞受賞

2017年 2月 独立行政法人中小企業基盤整備機構主催

(後援：経済産業省中小企業庁ほか)

「Japan Venture Awards 2017」eコマース推進特別賞受賞

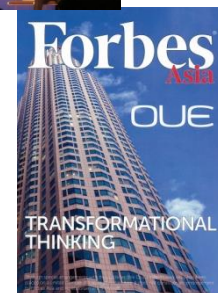
2015年 9月 国際的起業家表彰制度EYアントレプレナー・オブ・ザ・イヤー

2015年 日本代表候補ファイナリスト

2014年 9月 米国経済誌ForbesのAsia版にて

「Asia's 200 Best Under A Billion賞」を受賞

2014年 2月 IT経営力大賞 経済産業大臣賞受賞



1. 会社概要及び事業内容

東洋経済新報社が発表した企業力ランキング

■新・企業力ランキング (51~100位)

順位	前年 順位	社名	総合得点	成長性	収益性	安全性	規模
75	77	日揮	3,487	874	904	943	766
76	28	カカクコム	3,485	915	989	987	594
77	62	新日鐵住金	3,484	808	886	790	1,000
78	40	コニカ・ミノルタイメージング	3,483	949	919	969	646
//	—	北の達人コーポレーション	3,483	1,000	950	959	574
80	30	イー・ピー・エス・エフ・ジャパン	3,482	1,000	927	981	574
81	221	エンプラス	3,479	1,000	910	979	590
82	—	ベクトル	3,476	990	938	973	575
83	75	ワコム	3,475	1,000	912	973	590
//	193	大東建託	3,475	808	911	917	839
//	421	テンブホールディングス	3,475	995	897	963	620
86	147	システムインテグレータ	3,473	1,000	919	980	574
87	86	ニューフレアテクノロジー	3,472	956	957	956	603
88	124	テルモ	3,471	891	896	917	767
89	96	グラフィックデザイン	3,465	1,000	928	961	576
90	1156	コカ・コーライーストジャパン	3,464	1,000	878	967	619
91	146	ニコン	3,461	773	893	949	846
//	363	マーベラス	3,461	1,000	911	969	581
//	—	パラマウントベッドホールディングス	3,461	1,000	897	964	600
94	118	J T	3,457	690	926	841	1,000
//	1540	大幸薬品	3,457	1,000	899	981	577
96	77	エヌ・デーソフトウェア	3,456	1,000	920	958	578
97	267	リコー	3,454	724	878	852	1,000
98	123	N T Tデータ	3,453	732	889	850	982
//	179	キャリアデザインセンター	3,453	1,000	915	964	574
100	—	アイスタイル	3,452	1,000	914	963	575

〔注〕昨年順位の—は2001位以下を含む

—食料品—

順位	全体 順位	社名	総合得点
1	78	北の達人コーポレーション	3,483
2	90	コカ・コーライーストジャパン	3,464
3	94	J T	3,457
4	133	アサヒグループホールディングス	3,417
5	182	味の素	3,377
6	203	キリンホールディングス	3,356
7	252	カルビー	3,335
8	274	東洋水産	3,325
9	414	ヤクルト本社	3,282
10	472	アリアケジャパン	3,270
11	485	日清製粉グループ本社	3,268
12	500	ウォーターダイレクト	3,265
13	540	伊藤園	3,258
14	565	日本ハム	3,254
15	635	キッコーマン	3,240
16	680	コカ・コーラウエスト	3,232
17	774	S F O O D S	3,216
〃	774	養命酒製造	3,216
19	785	日清食品ホールディングス	3,215
20	796	岩塚製菓	3,213

1. 会社概要及び事業内容

当社オリジナルブランド「北の快適工房」



北の快適工房
J NORTH FARM

便秘、アトピー、ニキビなど
体の悩みのサポートに特化した
健康食品、化粧品。

「びっくりするほど良いものができた時にしか
商品化しない」

という**品質最優先主義**の
商品開発コンセプト。

販売して終わりではなく、
アフターフォロー専門の部署を設け、
徹底した顧客フォローを行い、
顧客満足の最大化を図っているため、
日々お客様からお礼のメールや手紙が
殺到している。

1. 会社概要及び事業内容



北の快適工房
J NORTH FARM



北の快適工房
J NORTH FARM
BEAUTY

お客様のニーズに応える全25商品を展開中



1. 会社概要及び事業内容

46秒に1本の購入実績！

EYE KIRARA-アイキララ



- ・モンドセレクション 金賞2年連続受賞
- ・化粧品としては実績の少ない医学誌への掲載
- ・平成27年11月の発売直後は、注文が殺到し約2ヶ月の発送待ち

1. 会社概要及び事業内容

家庭用オリゴ糖食品 **全国売上日本一！**

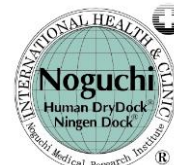
カイケキオリゴ



放射性物質
検査済製品



NPO法人日本サプリメント評議会



- ・モンドセレクション 最高金賞 6年連続受賞
- ・安心・安全マーク取得
- ・野口医学研究所推奨商品認定

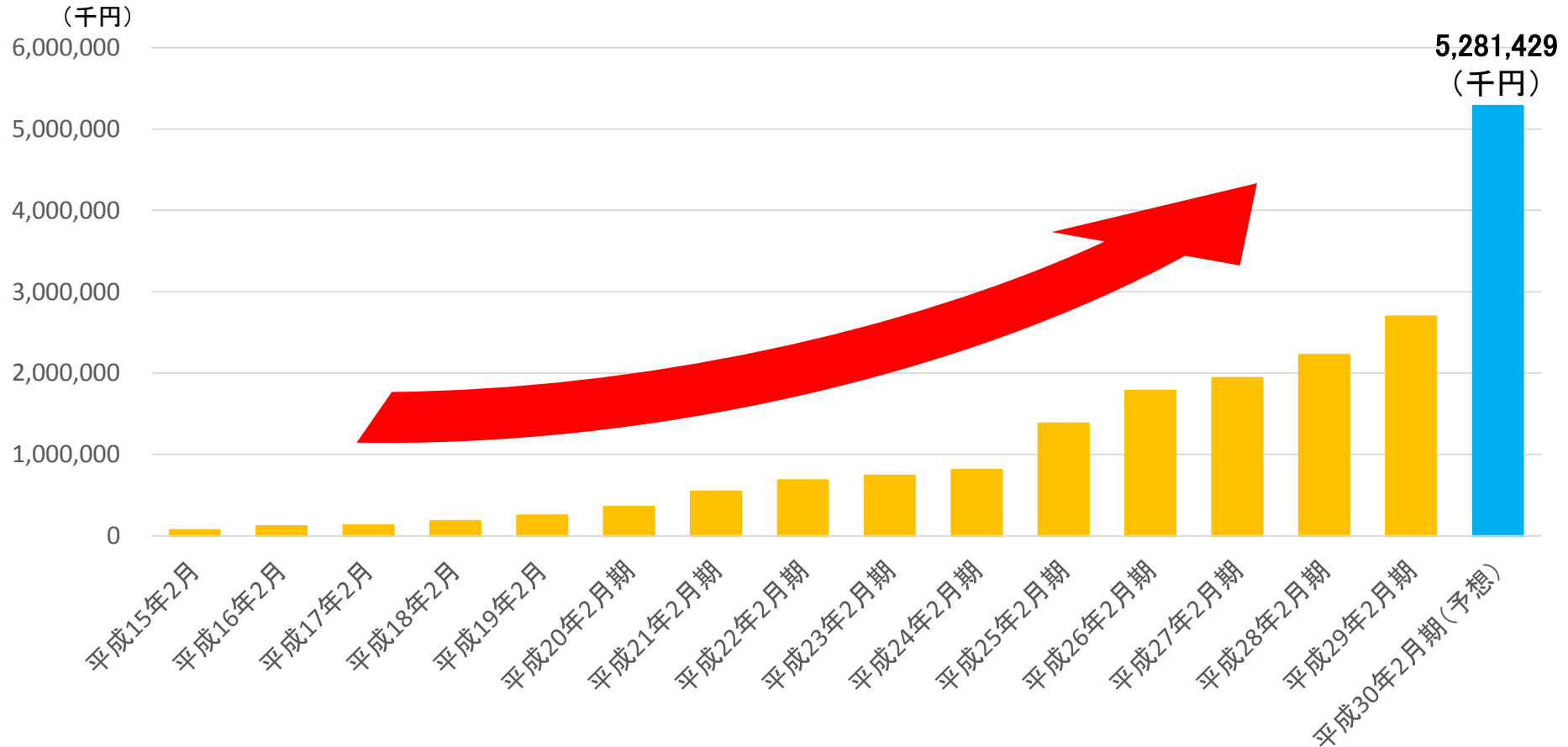


1 会社概要及び事業内容

2 業績ハイライト

3 基本戦略と今後の展開

2. 業績ハイライトー 売上高(通期)



- ・設立以来、約15年間連続で**過去最高の売上高**を達成！
- ・平成30年2月期も**過去最高の売上高**を予想！

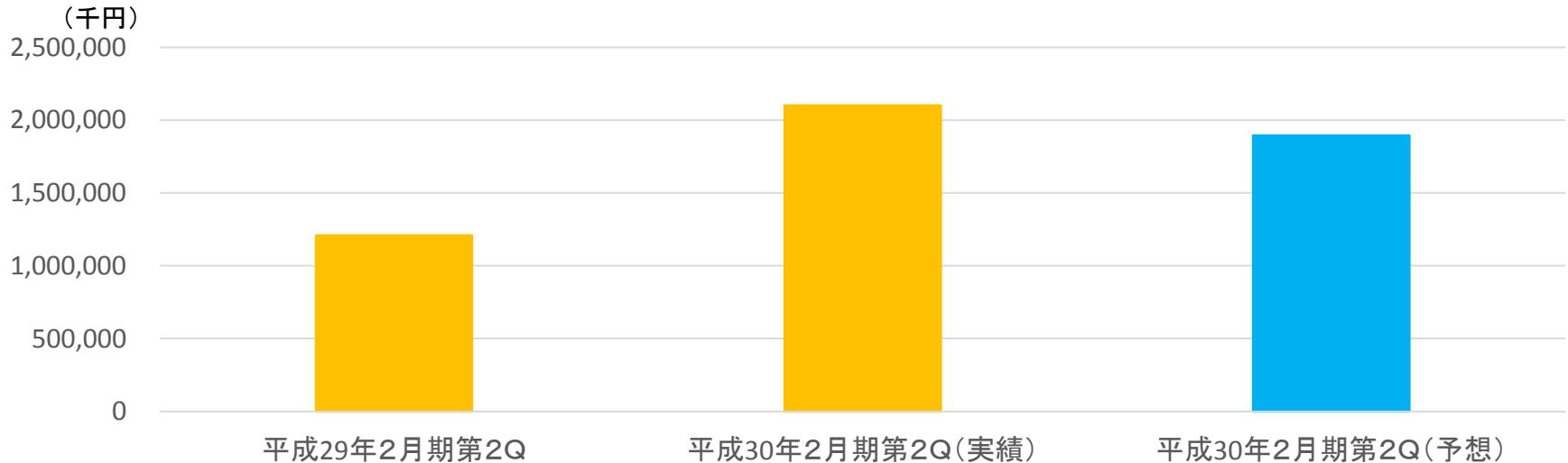
※ 平成19年2月以前は、決算期変更による影響を補正した1年間の数値

※ 平成15年2月は設立1年目のため、平成14年5月から平成15年2月までの10ヶ月間の数値

2. 業績ハイライト- 売上高(第2四半期)

(千円)

	平成29年2月期 第2四半期 実績	平成30年2月期第2四半期		増減額(増減率)	
		業績予想 (2017.07.14発表)	実績	対 前年同期実績	対 業績予想
売上高	1,207,751	1,895,123	2,101,241	+893,489 (+74.0%)	+206,117 (+10.9%)



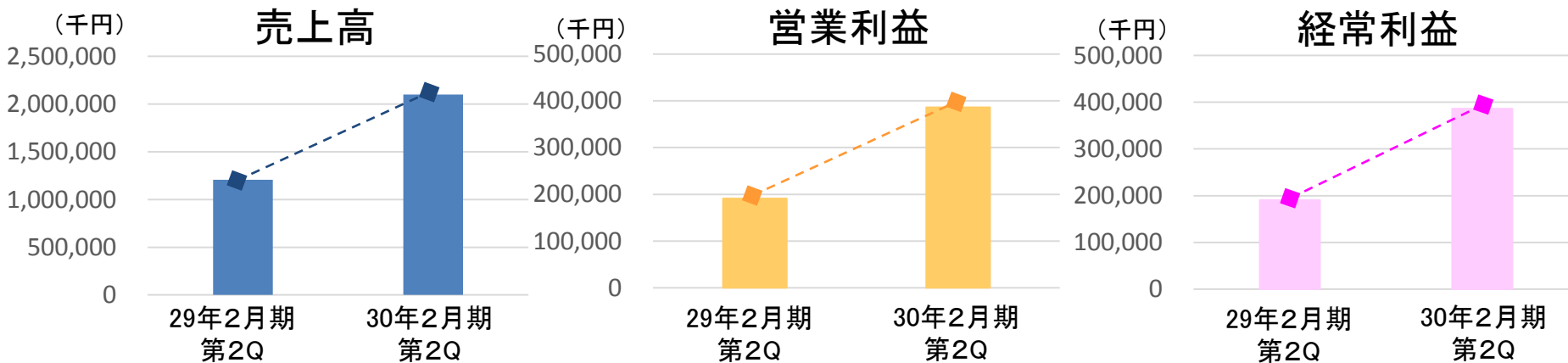
- ・ 対前年同期実績+74.0%と大幅に増加
- ・ 対業績予想についても+10.9%と問題なく推移

※ 平成30年2月期第2四半期の売上高予想については、平成29年7月14日に当初予想(1,481,500千円)からの上方修正を発表。

2. 業績ハイライト - 売上高、営業利益、経常利益

(千円)

	平成29年2月期 第2四半期	平成30年2月期 第2四半期	対前年同期比
売上高	1,207,751	2,101,241	+74.0%
営業利益	190,753	386,270	+102.5%
経常利益	190,310	386,154	+102.9%

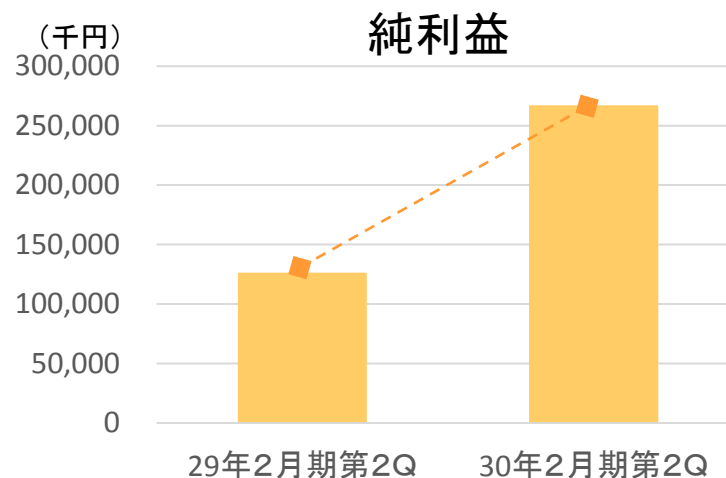
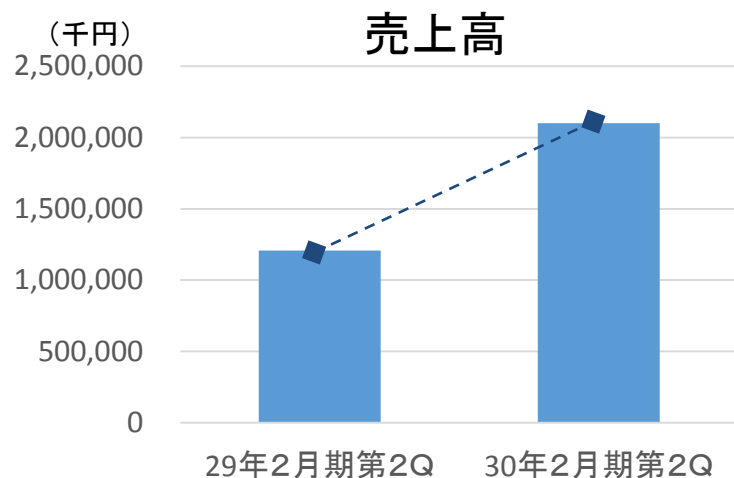


営業利益、経常利益共に大幅に増加！

2. 業績ハイライト - 売上高と純利益

(千円)

	平成29年2月期 第2四半期	平成30年2月期 第2四半期	対前年同期比
売上高	1,207,751	2,101,241	+74.0%
純利益	125,645	266,405	+112.0%



純利益についても

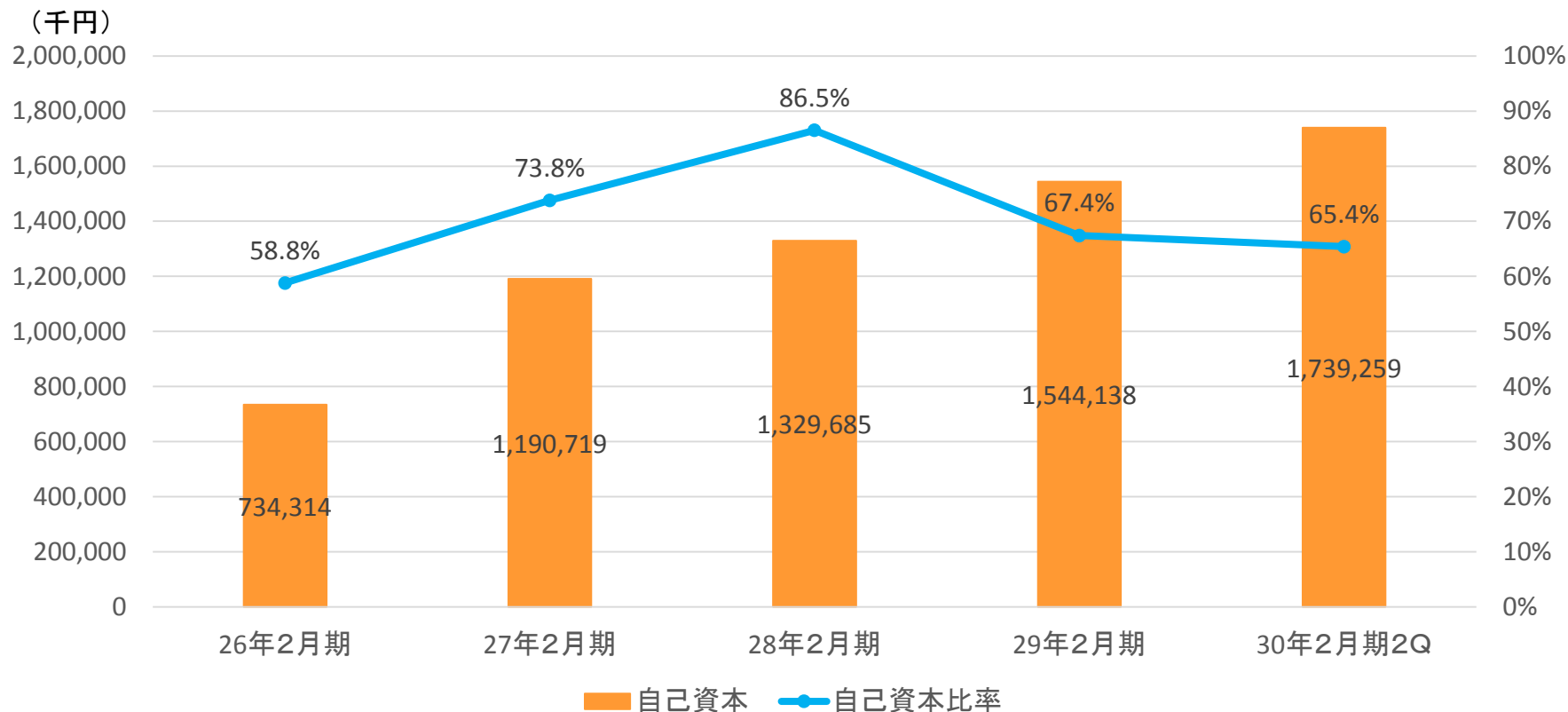
対前年同期比+112.0%と大幅に増加！

2. 業績ハイライト - 貸借対照表（B/S）

（百万円）

	平成29年 2月期	平成30年 2月期第2Q	増減	主な要因
流動資産	2,203	2,576	372	・現金及び預金、売掛金の増加 ・たな卸し資産の減少
固定資産	86	81	▲5	・無形固定資産の減少
流動負債	536	775	238	・買掛金、未払金、販売促進引当金の増加 ・未払消費税の減少
固定負債	208	141	▲66	・長期借入金の減少
純資産	1,545	1,740	195	・利益剰余金の増加 ・剰余金の配当による利益剰余金の減少
総資産	2,290	2,657	367	

2. 業績ハイライト - 自己資本比率



自己資本比率は、依然高水準を維持

※ 平成30年2月期第2四半期末の自己資本比率について

- ・資金ポジションを上げる目的で行った借入を考慮(除外)した自己資本比率は73.0%となります。
- ・加えて、売上拡大に伴い広告宣伝費(未払金)・仕入債務(買掛金)の増加が生じており、仮にこれらが平成28年2月期と同水準の場合、自己資本比率は84.0%となります。

1 会社概要及び事業内容

2 業績ハイライト

3 基本戦略と今後の展開

3. 基本戦略と今後の展開

平成30年2月期について

- 売上高を2度上方修正
- 売上高、営業利益、経常利益、純利益それぞれ過去最高額を予想
- 将来の利益増大を目的とした、集客体制の更なる強化や、広告宣伝費の戦略的な拡大
- 株式の流動性の向上及び投資家層の拡大を目的とし、株式分割を2度実施

3. 基本戦略と今後の展開

(千円)

	平成28年2月期 (実績)	平成29年2月期 (実績)	平成30年2月期 (平成29年10月13日発表予想)
売上高	2,222,440	2,696,859	5,281,429
営業利益	397,758	542,054	777,084
経常利益	393,223	538,497	779,634
当期純利益	226,777	356,728	533,192

- ・ 大幅な増収増益の見込み
- ・ 平成30年2月期売上高予想については、当初予想から
2度の上方修正

(当初予想：3,000,000千円、平成29年7月14日発表予想：3,969,523千円)

3. 基本戦略と今後の展開

資本政策について

- ROE(自己資本利益率)の向上を経営上の重要な課題の一つと認識しており、平成30年2月期のROEは30%超で着地する見込み。
- 配当性向30%を目処とした安定的な配当を実施。
- 株式の流動性の向上及び投資家層の拡大を目的とし、平成29年4月1日付と平成29年11月6日付でそれぞれ普通株式1株につき2株の割合をもって分割を実施。

3. 基本戦略と今後の展開

株式状況 (11月末日現在)

- 発行可能株式総数 160,000,000株
- 発行済株式総数 44,336,000株
- 単元株式数 100株
- 株主数 9,157名

※株主数は8月末日現在。



株主優待

平成30年2月末日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式1単元(100株)以上を保有の株主様に、「カイケキオリゴ」を贈呈。



3. 基本戦略と今後の展開- 配当状況

当社は、経営基盤の強化に向けた内部留保の充実を図りながら、配当性向30%を目安として利益還元に取り組んでおります。

	中間配当金	期末配当金	合計	配当性向
平成29年 2月期	0.88円 (実質3.5円)	1.63円 (実質6.5円)	2.5円 (実質10.0円)	30.9%
平成30年 2月期	1.75円 (実質3.5円)	2.0円(予想) (実質2.0円(予想))	3.75円(予想) (実質5.5円(予想))	30.9% (予想)

- ・上記は株式分割の影響を補正しております。
- ・前期と比較すると50%の増配を予定！

3. 基本戦略と今後の展開

戦略

北の達人コーポレーションの
事業戦略

北の達人流
商品戦略と
マーケティング戦略

3. 基本戦略と今後の展開

戦略

達人流商品戦略①

ビックリするほどよいものが
出来たときにしか
商品化しない



3. 基本戦略と今後の展開

戦略

達人流商品戦略②

ブームに乗らない

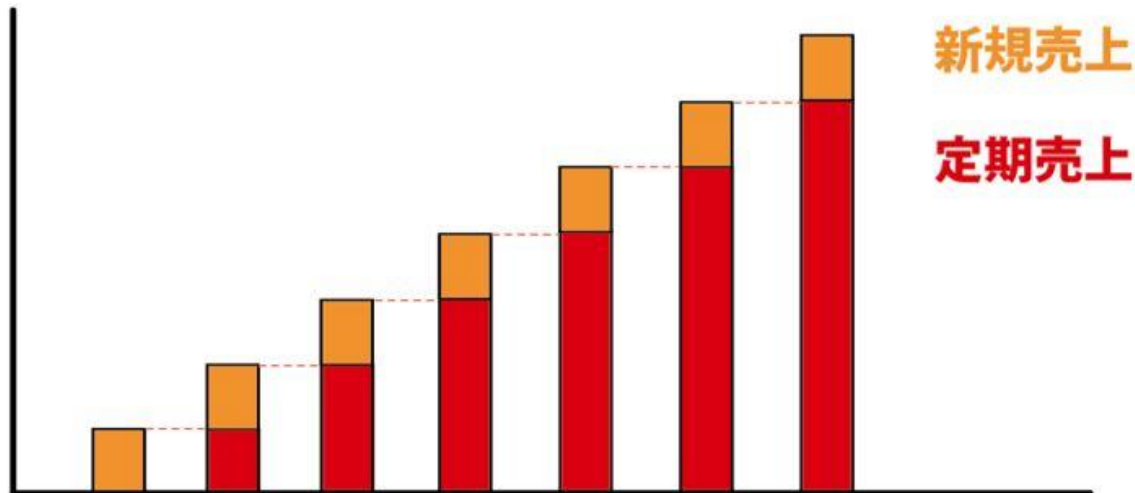
- 全国的ブームを起こしたからこそ知った「ブームの真実」
 - コンセプト勝負のネットビジネスはすぐにまねされて価格競争になる
→商品の品質勝負でなければならない。オンリーワンでなければならない。
 - ブームは一過性のもの。すぐに浮気される
→ブームではなくベーシックな商品で本当に気に入った人を対象に
ビジネスをする。ブーム素材(酵素、水素水、レスベラトロール、CoQ10等)
ではなく地味なオリゴ糖、梅肉エキス、竹酢液、ホエイ等。
- 「演歌の戦略」

3. 基本戦略と今後の展開

戦略

達人流マーケティング戦略①

絶対に伸びる
ビジネスモデルの採用



3. 基本戦略と今後の展開

戦略

達人流マーケティング戦略② 自社独自開発の広告データ 分析システム

- 広告媒体毎、商品毎の上限広告予算算出システム
- 広告クリエイティブ毎の効果測定データ算出システム
- 広告の「きっかけ」と「刈り取り」の関連性測定システム



「いつ」「どこに」「どのような内容」の広告を出せば「いつ、いくら利益が帰ってくるのか」が可視化されているため、「絶対に利益が出る」広告投資運用を行える
(月初1～2日で当月の売上・利益がほぼ正確に算定できる)



営業利益20～30%の実現

3. 基本戦略と今後の展開

戦略

北の達人コーポレーションの
今後の事業展開

新規事業の条件

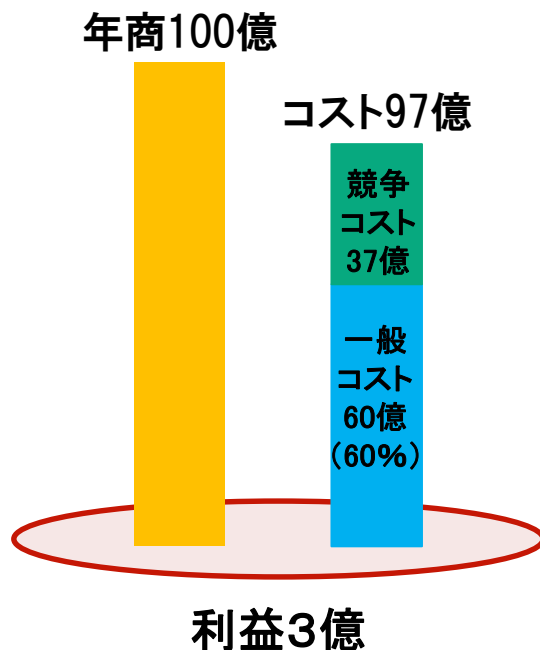
⇒「世の中をカイケキにするもの」

⇒「GDPがあがること」

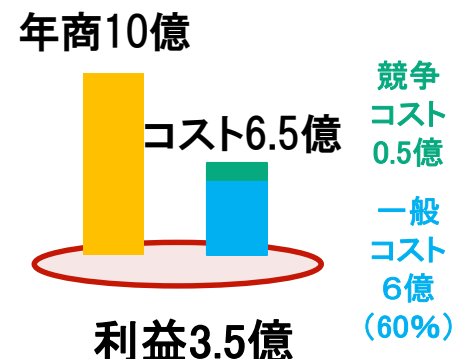
3. 基本戦略と今後の展開

- ・ 現在、「便秘」「アトピー」などのニッチマーケットでトップシェアを占める戦略を取っている。
- ・ 大きなマーケットは競合が多いため、年商が100億まで伸びたとしてもコストがかかる。
- ・ 小さなマーケットは競合が少なく、年商は10～20億までしか伸びないが、競争コストがかからず利益率が高い。

競合の多い大きなマーケット



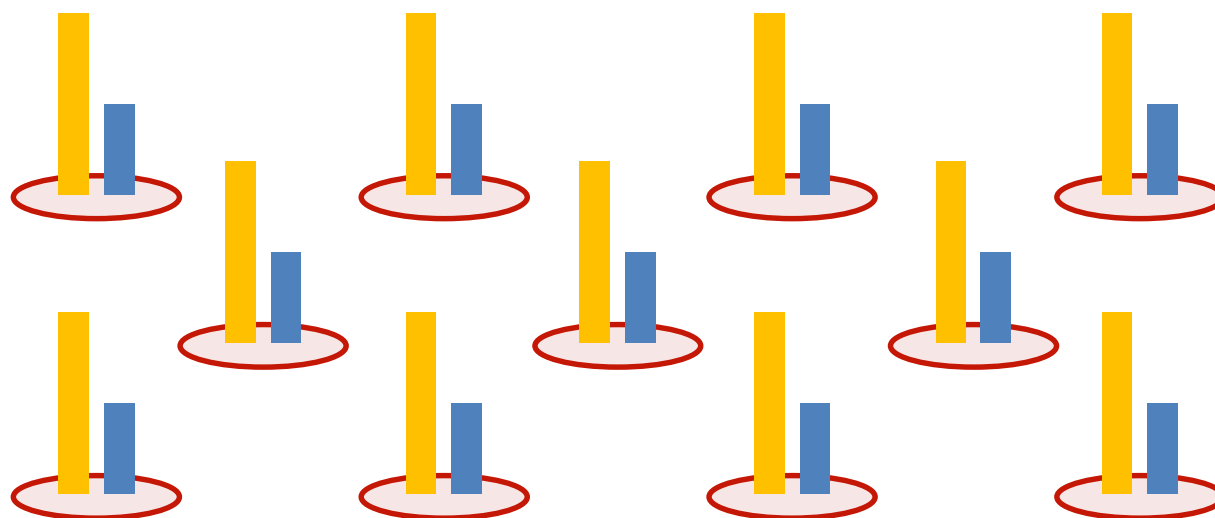
競合の少ない小さなマーケット



売上は10分の1でも、競争コストが少ない分、利益率が高い

3. 基本戦略と今後の展開

**今後もニッチマーケットを中心に
複数アイテムを展開していき、
高収益のまま年商100億を目指す。**



1～20億×複数マーケットで年商100億へ

3. 基本戦略と今後の展開

最近のリリース商品

キレイな艶めく手へ！ シワが伸びて若見え！ 理想のまぶたを手にする！



ルミナピール
平成29年7月発売



リンキーフラット
平成29年10月発売



リッドキララ
平成29年10月発売

本説明会の内容および資料に記載された意見や
予測などは資料作成時点での当社の判断であり、
その情報の正確性を保障するものではありません。

様々な要因の変化により実際の業績や結果とは
大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

資料およびデータの無断転用はご遠慮ください。

ご清聴ありがとうございました。
今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

